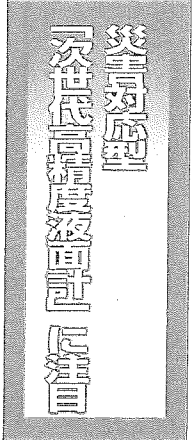


九州・沖縄 感 navi SERVICE STATION

本日のメニュー

世界初の災害対応機能が誕生!

昭和機器工業(福岡市博多区)
高精度液面計で国内トップシ
エリアを誇る昭和機器工業が、同
社独自の最先端技術により、さ



らに機能を進化させた「災害対
応型 次世代高精度液面計 D
SV X-2」を4月から発売
して注目を集めている。
開発の背景には、熊本や大
阪、北海道で相次ぐ地震のよう
に近年多発する自然災害への対
策がある。災害非常事態におい

自然災害で停電しても、バック
アップ電源により在庫量を簡易
表示するのである。

例えば、地震による停電の際
に、同機能を用いて営業終了後
と営業開始時の在庫量の変動を
チェックすることで簡易的に漏
えい検査が可能となる。夜間に
水が混入していれば当然在庫量
が増えていると、逆に減ってい
れば漏えいが疑われる。営業終
了時と在庫量の差異がなければ、
安心してタンクへの荷卸し
や緊急車両、一般車両への給油
が可能となるわけだ。

また、災害時や万一のトラブ
ルの際、センサー部を脱着する
ことなく、地下タンク内の水位
を測定できる専用検水口(専用
のワイヤー式検水棒で測定)を
利用できるのも現場にとって
「自分の目で見て」安心を担保
できる機能だ。

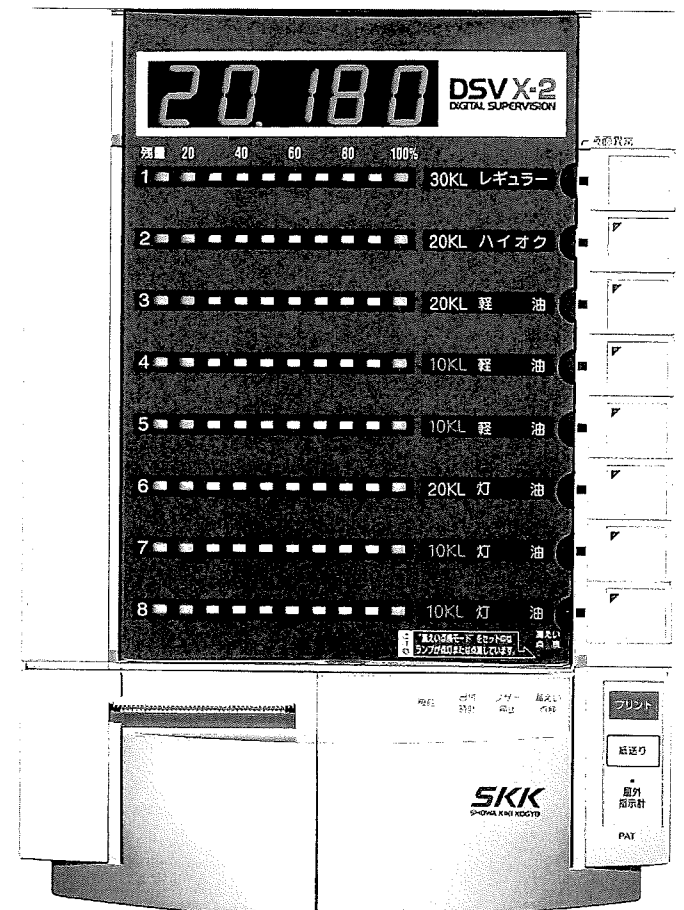
同社では昨年4月から九州地
区限定で同機を発売したとい
ろ、「こういう機能を待ってい

た」と好評を博し、さらに口コ
ミで遠方のSS業者からも問
合わせがあるなど大きな反響を
呼んだことを受け、今年4月か
ら全国発売を開始したという。
かつて、検尺棒で地下タンク
の在庫を管理していた時代か
ら、直読式(フロート式)の液
面計が登場し、現代に至る高精
度の磁歪式液面計へと進化して
きた経緯がある。技術革新によ
り、正確な在庫管理、高感度の
漏えい検知機能など、その進化
は目を見張るものだ。

一方、北海道地震で全域が停
電する異常事態で露見しように
、ハイテク化が進めば進むほ
ど電力への依存度も高まり、災
害時の脆弱性が浮き彫りになっ
ている。そんななかで、同社が
開発したバックアップ電源とタ
ンク在庫量の直読機能をもった
高精度液面計。災害時の「最後
の砦」という重要な役割を担う
SSにとって心強い機器となる
ことは間違いない。

て、復旧の原動力となる緊急車
両への給油の重要性は周知の事
実であるが、販売業者にとつ
て、SS営業再開の可否を握る
地下タンクの安全確認がもつと
も神経を使うところだ。
実際に3年前の熊本地震で
は、燃料供給の使命感から地下
タンクに入水していることに気

付かず給油してしまい、多数の
車がエンジントラブルになった
ケースもあった。
そんな災害時の予測不能な状
況を踏まえ、同社が開発した高
精度液面計のセンサーには世界
初となるタンク在庫量簡易表示
機能を標準装備した。万が一の
落雷や台風、竜巻、地震などの



災害対応型 次世代高精度液面計「DSV X-2」



世界初! 停電時にも機能するセンサー表示部が標準装備